

日立労基協だより

第16号

発行所
日立市幸町1丁目2番2号
日立商工会議所会館1階
社団法人日立労働基準協会

電話(0294)23-3431
E-mail:roukikyo@sdi.or.jp
編集兼発行人 桜井 博

新年あけまして
おめでと〜ございませす



わたしの年でチウ

年頭のご挨拶



(社)日立労働基準協会
会長 柴田 文弘

また、一般定期健康診断の結果、何らかの所見を有する労働者の割合が増加傾向にあり、過重労働や職場環境による健康障害や精神障害の労災認定件数が非常に多くなってきたことも考えられます。

新年あけましておめでと〜ございませす。会員事業場の皆様方には、日頃から日立労働基準協会の運営に對しまして格別なるご支援、ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

昨年度の定期総会で野崎前会長の後任として皆様からご承認を頂き、また、理事以上の役員十二名が交代し、新体制での運営となりましたが、お蔭様を持ちまして平成十九年度の事業計画を順調に進めることができ、重ねて御礼を申し上げます。

当協会における昨年の活動を振り返ってみますと、技能講習及び特別教育の受講人員が増加していることに加え、安全衛生大会や研修会等の行事に参加する人員も増加し、大変充実した一年間であり、会社経営に例えるならば、「過去最高益を達成した」と言っても過言でない一年であったと思います。

一方で、日立労働基準監督署管内や茨城県における労働災害の発生状況を見てみますと、減少傾向が鈍化しており、逆に増加の局面を迎えつつあるのではないかと危惧しております。その要因としては、雇用形態が流動化する中において、未熟労働者に対する安全衛生教育が不十分であること、団塊世代の労働者が大量に退職することにより安全衛生に関するノウハウが十分に継承されないこと等が考えられます。

こうした中、労働災害を減少させていくには、「計画 実施 評価 改善」という一連の過程を定め、安全衛生活動が継続的に行われる仕組みを構築し、本質安全化を追求していく必要があります。

会員事業場の皆様におかれましては、従業員の健康と安全の確保を経営の最優先課題とし、「災害ゼロ」から「危険ゼロ」を目指して積極的に安全衛生活動を展開して頂くようお願い申し上げます。

当協会と致しまして、関係官庁のご協力を賜りながら、会員事業場のニーズに応え昨年以上の活動が展開できるよう、尚一層の努力をして参る所存ですので、今後ともご理解、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員事業場の皆様へ、更に飛躍の年となることを御祈念申し上げますが、年頭のご挨拶とさせていただきます。

謹賀新年

(社)日立労働基準協会

役員一同